

# Rotary Club of AMA weekly report.



2021~2022年度  
国際ロータリーテーマ

奉仕しよう  
みんなの人生を  
豊かにするために



2021-2022年度 R1会長 シェカール・メータ  
第2760地区ガバナー 杵名 俊裕  
会長 家田 安啓 副会長 谷川 浩司  
幹事 中島 英之  
例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル  
【公共イメージ向上委員会】  
委員長 稲垣 秀樹 副委員長 神戸 剛  
委員 浅野多喜男・古川 宏・後藤袈裟美・  
池崎 晴美・西川 広樹・田中 正博

【事務所】〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp

## 2022年 4月 18日(雨) 第3週 第2383回例会

Song " 我らの生業 "

### Attendance

会員	67名	欠席	14名	出席率	75.44%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time 家田安啓 会長



本日は、次年度の理事・役員・委員長の皆さんに地区研修・協議会の報告をしていただきます。

さて、桜も名古屋市内ではほぼ散ってしまい、葉桜も過ぎて若葉の季節になってしまいました。この時期は、桜の木の足元を見ていただくと、様々な花が咲いていることに気づかされます。躑躅もそろそろ咲き始めています。今日は野草の話をしたと思います。野草の中で、唯一名前を言えるのがタンポポです。足元に咲いている黄色い花で、綿毛になるものです。しかし、このタンポポにも種類や偽物があります。タンポポは、キク科タンポポ属の草花の総称で、主に3月から4月にかけて、黄色い花を咲かせる野草です。タンポポは、毎年花を咲かせる多年草で、生命力が強く、根が残っていれば茎を刈られてもまた伸びてきます。タンポポの花が咲く期間は約3日です。大きく分けると、日本に自生する二ホンタンポポと、外来種であるセイヨウタンポポの2つになります。二ホンタンポポのなかに

は、カントウタンポポやエゾタンポポ、シロバナタンポポなど、いくつもの種類があります。現在では、セイヨウタンポポとの交雑が多く起きているため、純粋な二ホンタンポポは次第に数を減らしているようです。セイヨウタンポポはもともと外来種ですが、現在では日本各地に分布しています。現在では、日本で確認されるタンポポの8割ほどがセイヨウタンポポか、その交雑種だといわれていて、普段見かけるタンポポも、その多くがセイヨウタンポポになっているようです。特に、セイヨウタンポポは一年中花を咲かせることができるので、春以外の季節に見られるタンポポは、セイヨウタンポポということになります。タンポポの名前の由来の一つは、白い綿毛が丸く集まった様子が、綿などを丸めて布で包んだ「たんぼ」に似ていることから、「たんぼ穂」となったというものがありますが、諸説あるそうです。私たちが、実際に街を歩いていると、ひょろとした背丈が高いタンポポを見かけることがありますが、それはタンポポではなく、ブタナという別の草花です。ブタナの花の開花時期はタンポポよりも遅く、初夏からよく花を見かけます。ブタナには、「タンポポモドキ」という別名があります。名前を知らない野草はすべて雑草と言ってしまいがちです。昭和天皇は、「雑草という草はない。どんな植物でも、みな名前があって、それぞれ自分の好きな場所で生を営んでいる」という言葉を残されています。当

<b>Today</b>	5月 9日 (第2384回)
担当	山田広明 青少年奉仕委員長
演題	クラブフォーラム 青少年奉仕委員会
<b>Next Week</b>	5月16日 (第2385回)
担当	加藤春視 プログラム委員長
演題	卓話 名古屋大学医師 伊藤綾香氏

時、侍従長だった入江相政さんが昭和天皇の言葉として紹介しているものです。昭和天皇の留守中に庭の雑草を刈っていた入江さんに対してなぜ草を刈ったのか尋ねられたところ、「雑草が生い茂って参りましたので、一部刈りました。」という入江さんの答えに対して、昭和天皇がおっしゃった言葉だそうです。昭和天皇のまじめで、優しいお人柄が偲ばれます。

## Secretary Report

## 中島英之 幹事

- 1 次週4月25日（月）は昭和の日の振替による休会です。
- 2 5月2日（月）は憲法記念日の振替による休会です。
- 3 次回例会は5月9日（月）になります。

## ニヨボックス

### ご投函有り難うございます

家田安啓 会長

地区研修・協議会参加の皆様、お疲れ様でした。各委員長の皆様、適宜引継ぎをよろしくお願いいたします。

谷川浩司 副会長

地区研修・協議会出席の皆様、お疲れ様でした。

中島英之 幹事

成田山新勝寺へ行きました。参道で鰻を食べました。やっぱり蒸さない鰻の方が良いですね。

前田重廣君

いつも皆様にご苦勞をかけています。私は元気です。

大竹敬一君

地区研修・協議会、お疲れ様でした。

後藤 眞君

スマホ、2ヶ月でイカしました。ガラケーが良いなあ。

後藤裕一君

昨日の地区研修・協議会出席の皆さん、お疲れ様でした。

池崎晴美君

4/16～4/29までヨシツヤ津島本店さんで、ホスピタルクラウンがウクライナ小児病院訪問写真展が開催されています。私も3年間実際にウクライナの病院へ行って来ました。今回の写真に写っている子ども達はすでに大人となっています。世界の平和を願っての写真展、是非見に行ってください。私の撮影した写真もあります。

加藤春視君

地区研修・協議会に参加してきました。大変勉強になりました。

北野庸夫君

ゴルフ、三好で大叩きしました！そろそろゴルフやめるか！また頑張るか？

水原麻希君

地区研修・協議会に参加の皆様、昨日はお疲れ様でした。素晴らしい1日でした。本日は1部発表します。よろしくお願いいたします。

水野 眞君

最近の報道関係は悲しくて反省しきりです。若い時を思い出します。

小倉廣三君

地区研修・協議会お疲れ様でした。発表の皆さん、よろしくお願いいたします。

大西晃弘君

昨日の地区研修・協議会にご参加の皆様、有難うございました。

竹田竜一郎君

地区研修・協議会に参加の皆様、お疲れ様でした。本日、第3分科会の発表をさせていただきます。

田中正博君

WFFは会社の行事で欠席します。申し訳ありません。

谷口充子君

昨日は地区研修・協議会にご参加の皆様、お疲れ様でした。本日第4分科会の発表をさせていただきます。

合計 31,000円

## 地区研修・協議会発表

### 第1分科会 臼井幹裕君

令和4年4月17日、名古屋国際会議場ホテルにおいてRI第2760地区2022-23年度地区研修・協議会が開催されました。ご承知のとおり、地区研修・協議会は、冒頭と最後に全体での本会議に挟まれて、9つの分科会に分かれて



の研修が行われる形となっています。私は、そのうち本会議と第1分科会の部分を報告します。

本会議では、箆橋ガバナーエレクトによる所信表明がありました。まず箆橋ガバナーエレクトから次年度RIテーマがIMAGINE ROTARYであることなどの説明があり、地区方針として「未来を描こう、笑顔でつなごう～一人一人

のチャレンジを力に！ 変化に対応できるクラブを目指して」である旨の発表があり、地域社会との関係、急激な社会変化に対する対応の関係を話し、会員減少の傾向に対してクラブの魅力を高めて会員増強につなげていく活動、インパクトのある奉仕活動などを活動方針とすることを説明されました。また、今回は、ロータリー財団地域コーディネーターの服部良男パストカバナーの「ロータリーの戦略行動計画ってなに？」と題する特別講演がありました。講演内容は、かなり難しいものでしたが、戦略は、まず現状分析を踏まえ、使命とビジョンを明らかにしたうえで、組織（例えばRIや各クラブ）が提供するサービスの価値を実現していくものであると指摘されました。そして、RIはロータリーの中核的価値観（「親睦」「高潔性」「多様性」「リーダーシップ」）を実現するには奉仕という行動・実践にあるという戦略を示していることを語られ、経営に携わるロータリアンには大変示唆に富むものでした。

第1分科会は、「ロータリーの未来を目指して～わたしたちは、時代とともに、社会とともに、歩む～」というテーマのもと、地区の危機管理、防災対策及び会員増強の各委員会委員長が説明されました。会員増強では、安心して会員増強できるクラブ作りを目指すという発言が印象に残りました。地区の会員数が減少傾向にあることに言及されましたが、それが単純な減少ではなく、この2年間毎年100名が減少しほぼ同数の200名の入会があった点を指摘していました。これは会員の入退会がクラブの新陳代謝という側面もあり、「安心して会員増強できるクラブ」（即ち、それはきっと魅力あるクラブですね。）であれば、入会の勧誘もより積極的に行えると感じました。入会の勧誘の実践的な方策にも触れられ、地区委員会は、各クラブが会員増強に使えるパンフレットを作成する手伝いをできるよう準備していることや女性会員を増やす試みを紹介していました。最後に、第1分科会のまとめの言葉として、澤田文雄次期ガバナー補佐が、会長もしくは幹事はアスリートではなく、聖火ランナーであればよい、会員が楽しいと思えるクラブ、会員の笑顔に笑顔で返すクラブにというお話があり、私自身も少し肩の力を抜いて取り組んでいければよいなあと感じた次第です。

### 第2分科会 神野恭寿君

神野重行第2地域ロータリーコーディネーター補佐「クラブの魅力アップのために」

☆（対象者に）やっていただきたいこと。

皆さんは「クラブ例会を仕切る」と言う、ロータリー活動で一番大切な仕事を担う。



※皆さんの役割は

- ・例会の進め方を今一度見直して、もっともっと魅力アップされる手はないか？を考えること。
- ・現行の運営が今の時代に合っているか？今までと一緒に良いのか？

- ・他クラブに積極的にビジター訪問してみることも大切。ご自身もガバナー時代、色々なクラブを訪問され「百クラブ百様」の違いに気づいた。良い所は是非取り入れて欲しい。

※クラブ細則の見直し

- ・三大義務

  1. 毎週の例会出席
  2. 会費を納めること
  3. ロータリーの友を読むこと

を軸に、クラブ毎に「自主性」を取り入れて、例会の回数・時間・場所など、これまでのやり方を今一度検討してみてはどうか。

例会最初の会長挨拶の大切さ：会長挨拶は例会の魅力の要「会長挨拶に命を懸けてほしい」。そして、例会だけでなく、例会後の会員相互のコミュニケーションや情報交換がクラブの魅力。先のことを考えて笑顔でつないでいく。周りを変えるくらいの気概がないといけない。自クラブの魅力度UPが一番の使命。

☆知ってほしいこと

1. 次年度からローターアクトクラブがRIの会員。
2. DEI-Diversity（多様性）・Equity（公平さ）・Inclusion（開放性）

今年からRI基本方針に「Equity」が入った。

根拠もないのに「ロータリーは男のものだ」・「新米のくせに」とか言っている人はいませんか？

最後に、次年度RI会長ジェニファー・ジョーンズさんの言葉。「昨日のことをImagine（想像）する人はいません。Imagine それは未来を描くことです。」というお言葉で締められました。

### 第3分科会 竹田竜一郎君

公共イメージ向上委員会の第3分科会へ出席してきました竹田です。現状、世間にロータリークラブの事を問いたアンケートによると、なんとなくの認知度はあるが、何をしているか分かっている人は殆ど居ないと結果が出たとの事です。ライオンズクラブは63%、ロータリークラブは





47%とかなり差があり、広報活動が必須となってきております。

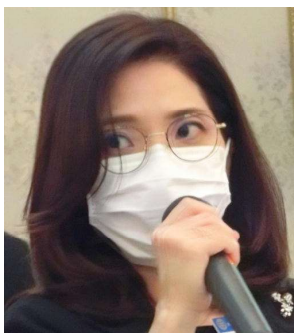
この委員会は、外向きと、内向きの広報というのが主な仕事ですが、外向きの広報が非常に重要となっています。

イメージ向上させ、会員増強にも繋がるという事を目指し、メディアやSNSを積極的に活用してアピールしてください。奉仕活動では、今世間が必要としている、時代に合った奉仕活動を行なってください。より公益性の強い奉仕活動へ今までの見直しをすることにより、公共イメージの向上に繋がります。

今期から『環境』というキーワードが入りました。例えば、海洋清掃を世界で同日に行うイベントをしたりしたとの事です。昔は、ロータリーは宣伝する必要が無いと言われていたが、今、RIでは逆であり、意識改革をして外へPRしてください。とっております。

MYロータリーの登録と活用をしてください。との事で、あまクラブの児玉会員が副委員長として登壇し、説明会を行いました。MYロータリーは、会員にとって非常に便利な物であるので、全員の登録をお願いしたいとの事でした。その後、実際に奉仕活動内容をSNSにアップしているクラブを例にあげ、今後は積極的にSNSで配信してください。との説明もあり、あわせて、ロータリーの友への投稿のお願いもありました。2022年7月より、40年ぶりに価格改定があり、200円から250円になるとの事です。なお、7月からウェブサイトが刷新され、創刊号からデジタル化して、閲覧出来るようになります。どこのクラブがよく活用しているかも分かるようになります。ロータリー文庫もデジタル化されます。なお、投稿する奉仕写真は、集合写真は必要無く、カメラ目線もNG。記念写真ではダメで、作業をしている所の写真が良いとの事でした。

#### 第4分科会 谷口充子君



第4分科会は、奉仕プロジェクト委員長、職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、RCC委員長、環境保全委員長の分科会です。

テーマは、「未来を描くことの出来るロータリーの奉仕活動のヒントを ~変化に対応できるクラブを目指して~」ということで、テーマ通りに奉仕活動における沢山の情報共有をし

て頂きました。

社会奉仕継続事業として行われている事例に加え、コロナ禍でひとり親家庭や若者等の貧困が増加していること、その上ウクライナでの侵攻での情勢不安の状況下であることもあり、今後経済状況の悪化に伴って地方自治体からの予算が減る可能性もあります。この状況下で、奉仕のプロであるロータリークラブが果たす役割は大きく、今こそ原点回帰で地域の人々と手を取り合い、地域社会に貢献する活動を行なっていかなければいけないということが言われていました。

RCCの活動についても紹介されました。RCCとはROTARY COMMUNITY CORPSの略で、ロータリー地域社会共同隊のことです。地元の人々をロータリーの奉仕活動の輪の中に巻き込んで、共に行動していくことを目指しています。現在、日本全国でRCC30隊、そのうち17隊が2760地区で実施されていることに感銘を受けました。例えば、安城RCでは地域の青少年の健全育成を目的に安城少年野球サークルRCCを結成し、8チーム400人にも上る野球チームをサポートしています。このような取り組みは、ロータリークラブの確固たる存在を地元住民にアピールする最良の方法となると感じました。また、職業奉仕委員の活動はロータリーの根幹であると言われていました。ロータリーの木「根」はクラブ奉仕であり、「根」から得た栄養で職業奉仕である「幹」を太くし、そこで茂った葉や実った果実で社会に奉仕していくことが大切であることが述べられていました。一般的には「職業」は金もうけの手段、現実的な手段です。一方で、奉仕とは赤十字のように世のため人のために尽くす一見相反する対極のものであると言えます。これを矛盾なく行うためには、渋沢栄一の「論語と算盤」にもあるように利潤と道徳を調和させる経営哲学が大切であり、職業奉仕の精神とスタンスは必ず4つのテストに照らして成り立つべきであると言われていました。

最後に、印象深かったのは以下の問いかけでした。

- 丸投げの奉仕活動になっていませんか。
- お金で購うだけの奉仕になっていませんか。
- 経済力のみならず知恵と労力を使って、I serve（私は奉仕する）というスタンスで臨んで頂きたい。
- ロータリークラブは「団体奉仕」ではありません。「奉仕を行う個人が集まった団体」です。

#### 第5分科会 谷川浩司君

第5分科会は国際奉仕委員会でありますから、次期国際奉仕委員長を拝命予定者が出席したわけであります。ここ



で、第5分科会リーダーの鈴木與左衛門次期地区国際奉仕委員長からお話がありました。

国際奉仕は貧困で困っている国・地域にお金を寄付して終わりではなく、現地で一緒に汗水たらして奉仕活動をして共に感動を味わおう。また、元米山記念

奨学生の子友や交換留学生、姉妹クラブなどすべて含めてロータリーファミリーという考え方をもってこれらを有効活用しながら国際奉仕を考えるべきだとおっしゃっていました。その後、補助金についての説明などをへて、過去の国際奉仕事業の話の数名されておりましたが、ここで以前津島RCとあまRC共同で地区補助金事業を使って、ベトナムの幼稚園の改修事業を行った時の話を津島RCの次期幹事と当クラブの稲垣会員が当時の事業報告・思い出などについて語られました。実際国際奉仕事業に携わった人たちが感動をかたる事において必ず言われるのは現地の子供たちの笑顔と澄んだ瞳に感動したと皆様おっしゃいます。

臼井年度では地区の補助金事業をつかってベトナムでの水事業を行うことが決まっております、私も時世が許せばぜひ現地にいて、共に感動を味わいたいと思います。

### 第6分科会 栗木和夫君

ロータリー財団の使命はロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする。

財団への支援を通じて、ロータリアンは、人々の生活向上に貢献する力を得ることができるのです。

財団への寄付

ロータリアンは基金への寄付を通じて財団の財政を支援することができる。

- ・年次プログラム基金  
「毎年100ドルを」
- ・恒久基金
- ・使途指定寄付（ポリオプラスと等しい）
- ・その他

### 第7分科会 後藤裕一君

[テーマ] 奉仕の未来を描こう青少年と共に

長瀬次期地区ロータリー奉仕委員長、佐藤同副委員長の挨拶のあと、青少年交換委員会、RYLA委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会、学友委員会の5委員会のそれぞれの活動報告、活動方針が各委員長より発表



されました。各委員長ともそれぞれの委員会活動がコロナ禍で制限されたこと、今後の委員会活動への協力、協賛の要請が主でありました。

#### 1. 青少年交換事業

コロナ禍において過去2年間交換事業が行えなかったが、2022年8月より派遣事業を再開させる予定であること。受け入れスポンサークラブになっていただきたい旨のお願いがありました。受け入れにおいては、月額5万円が地区から補助金がでるがそれ以外に概ね30～60万円の費用が発生する事が報告されました。

#### 2. RYLA事業

第31回地区RYLAセミナーが2023年3月25日～26日に開催予定。

※テーマ 夢をさがそう

15歳～30歳の受講生募集中、各クラブの推薦をお願いされた。

#### 3. ローターアクト事業

大学生中心で、大学内ローターアクトクラブが増加し、ローターアクト活動を推進しロータリーの補助に頼らない自前の活動費捻出に努力している旨の報告がありました。ローターアクト提唱クラブの方の招待行事への参加要請がありました。

#### 4. インターアクト事業

インターアクトクラブの概要が説明された。

#### 5. 学友委員会

交換事業、RYLA、ローターアクト、インターアクトのプログラムにおいてロータリー活動経験者で形成されるロータリーファミリーであり引き続きの協力をお願いされた。

### 第8分科会 加藤春視君

地区研修・協議会 第8分科会 米山記念奨学に参加しました。大橋均次期米山記念奨学委員長のもと、テーマ「未来に向かって、世界平和への架け橋になろう」にそって研修が進められました。



#### 1. 事業の説明と考え方

- ・事業の特徴：日本と世界とを結ぶ「架け橋」となる。
- ・会員のカウンセラーが付くことで「より日本のことを理

解してもらおう」こととなります。

- ・ロータリアンは、奨学生と一緒に「たくさん遊んでください」交流の中で心が通じあうことになり、多文化共感が生まれ親日家を育てることとなります。

## 2. クラブへの依頼事項

- ・カウンセラーへの参加要望されています。
- ・10月は米山月間ですので、卓話の依頼をして下さい。地区委員を派遣して米山記念奨学について説明いたします。
- ・奨学生の受け入れ希望を11月までに各クラブよりしてください。

## 3. 事業報告

- ・2021年度の奨学生アピールビデオを視聴しました。ロータリアンも奨学生もとても笑顔が素晴らしく、この事業が有意義であることが伝わりました。
- ・参加学生51名 35名でオリエンテーションがスタートしました。
- ・2020-21年度寄付金収入、13億3,684万円前年度とほぼ同額、個人平均寄付額15,516円、普通寄付金4億1,900万円、特別寄付金9億1,700万円です。
- ・奨学生の受け入れは指定校制となり、学校より推薦されます。昨年は、37校190名でした。

## 4. その他

- ・災害救援基金へのご寄付 [ウクライナ]- MY Rotaryに掲載されています。2022年4月30日まで。

<https://www.rotary.org/ja/rotary-responds-ukraine-crisis>

### 第9分科会 水原麻希君



2022年、3年未満の新入会員が集う勉強会に参加させていただきました。初めはこのような大規模の研修会とは想像しておらず、名古屋国際会議場に到着して、大勢のロータリアンを目の当たりにして驚きました。またこのような会合をご準備された会も大変だっただろうと感激しました。

私が入会してすぐにコロナが蔓延してしまい、ロータリーの活動について理解をしておらず、今回の勉強会に参加して大きく3つを学んだような気がします。まず、第一にロータリーは社会奉仕をする個の集まりであるということです。分かってはいたものの、この勉強会の講師の皆さんから出る言葉が常に与えるということをお話していただきました。これはロータリーのMOTTOO 「超我の奉仕」、「最

もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」です。話の中でオードリー・ハップバーンの名言集が紹介されました。

「救いの手が必要なとき、それが自分の腕の先にあることを忘れないでください。そして、年をとったらもう一つの手があることを忘れないでください。一つは自分を救う手、もう一つは他人を救う手です。」

会社の経営者やリーダーの集まりであるロータリーを通じて活動ができれば大きな力となり、また世界の色々な場所と同じ思いを掲げて様々な奉仕活動をしている素晴らしい団体なのだということを再確認しました。ぜひ世界大会に参加して、世界のロータリアンと話してみたいと思いました。

2つ目にロータリーを楽しんでくださいということです。一日では本当に少しのことしか学べない、これはロータリーの例会、大会、また色々なクラブに参加することによって徐々にこの楽しさ、深みが分かりますという複数人の講師の方の言葉が印象的でした。正直、ロータリーの活動をあまり理解していなかった私は楽しむとは縁遠く、なんとなく出席している、しないといけないという感じでした。大先輩たちが今はロータリーの活動がないと寂しいという言葉聞いて、このような社会的意義のある会に参加して、また楽しくて仕方がないという気持ちになりたいと思いました。ぜひもっと会員の皆さんといろいろとお話して、この会がないと人生損したと思えるくらいになりたいと思いました。

最後に米山記念奨学会を含むロータリーの学生への支援についてです。今年カウンセラーを担当する身としてつい先日米山の新しいカウンセラーと奨学生の顔合わせに参加しました。たくさんの応募の中から選ばれた奨学生たちがいて、また日本で学んでいる内容も多岐にわたり関心しました。併せて今回は米山奨学会の歴史や意義など教えていただき、とても勉強になりました。私自身も18歳でアメリカに単身留学し、とても良い経験となりました。私は以前から日本がこれから優秀な外国籍の方にたくさん日本という国のファンになってもらい日本の魅力を広めてもらう、また日本に移住してもらう必要性を感じていました。ロータリーの学生支援の活動は人材紹介業をしている私にとって、一番関心があるロータリーの活動に参加させていただいていることを誇りに思っています。今年は頑張ってカウンセラーを務めさせていただければと思っています。

本当に多くのことがありすぎてレポートに収められませんが、個人の職業奉仕をしっかりとロータリーの樹を成長させ、女性のロータリアンとして積極的な活動を遂行していきたいと思えます。